

滋賀 SHIGA



もしもの時のサポート機能
『もしサポ滋賀』
LINE公式アカウント
滋賀県-新型コロナウイルス対策
パーソナルサポート

1 安土城跡

(近江八幡市安土町下豊浦)
織田信長が天下統一の拠点として築いた「幻の城」です。標高199mの安土山の上にそびえ立つ城の天主は五層七重で、金箔の瓦に朱塗りの柱など、イエズス会の宣教師ルイス・フロイスが「ヨーロッパでも見られないほど」と評した豪華絢爛なものでした。信長が死去した後、完成からわずか3年で焼失してしまいましたが、現在も石垣は良好な状態で残っています。天主跡に立ち、西の湖の雄大な景色を見下ろせば、あなたも天下人気分になれるかも。少し足を伸ばすと、時代劇など映画のロケで有名な八幡堀です。歴史を感じながら、美しい町並み散策をお楽しみください。

安土城跡

● JR琵琶湖線「安土駅」下車 徒歩約25分 ● 0748-46-6594 (安土山受付)

2 比叡山延暦寺

(大津市坂本町42220)
延暦7年(788年)に伝教大師最澄が創建した、天台宗の総本山です。1571年、織田信長による焼き討ちにより山全体が大きな被害を受けた後、豊田秀吉や徳川家康の代に復興されました。東塔、西塔、横川に分かれており、1994年にユネスコの世界文化遺産にも登録されました。延暦寺の麓に広がる坂本の町には、今も至るところで「穴太衆積み」が見られ、また周辺には明智光秀ゆかりの西教寺や豊臣秀吉ゆかりの日吉大社もあります。

比叡山延暦寺(大講堂)

● JR湖西線「比叡山坂本駅」から坂本ケーブルに乗換え 終点下車徒歩10分(東塔) ● 077-578-0001 (延暦寺)

3 彦根城

(彦根市金亀町1-1)
井伊直政を藩祖とする彦根藩歴代藩主井伊家の居城で、明治の廃城令や先の大戦の戦火を逃れた天守は国宝に指定されています。『ひこにゃん』にも会いに来て下さいね!。城の周りには、水を巧みに取り入れた池泉回遊式庭園である名勝「玄宮園」があり、また城下町としての風景も良好に保存されており、まち歩きも楽しみたいいただけます。更に足を伸ばすと、「(石田)三成に過ぎたるもの」と評された佐和山城跡があります。佐和山城の用材は、彦根城の普請に使用(移築)されましたが、現在も土塁や石垣が一部残っています。

彦根城

● JR琵琶湖線「彦根駅」下車 徒歩約15分 ● 0749-22-2742 (彦根城)

4 大溝城跡

(高島市勝野)
織田信長が甥の信澄に築かせた大溝城は、明智光秀による設計と伝えられ、琵琶湖の内湖(乙女が池)を巧みに利用した水城で、安土城から見て琵琶湖の対岸に位置します。現在は本丸に石垣を残すのみですが、城下町には、分節氏による大溝藩の治世の名残が見られます。山から城下町に飲み水と運ぶ古式上水道は今も住民に利用されている他、集落の道路に残る「町割り水路」など、城下町の面影を現在に継承する「大溝の水辺景観」は、国の「重要文化的景観」に選定されました。少し足を伸ばすと、湖中の島鳥で有名な白鬚神社があります。

大溝城跡

● JR西線「江高島駅」下車 徒歩約5分 ● 0740-33-7101 (びわ湖高島観光協会)

5 甲賀流忍術屋敷

(甲賀市甲南町電話師2331)
甲賀は、戦国時代に「甲賀の忍び」として活躍した甲賀流忍者の里です。この屋敷は甲賀五十三家筆頭格甲賀望月氏の旧邸で、「どんでん返し」や「落とし穴」などの巧妙なからくりが施された、今に残る本物の忍術屋敷です。忍者の歴史や暮らしを記した史料や忍具も展示されています。また、そこから少し足を伸ばすと連続テレビ小説「スカーレット」の舞台、信楽です。信楽焼の窯元めぐりを楽しみながら、旅のお土産に素敵な器を探しに行きませんか?

甲賀流忍術屋敷

● JR草津線「甲南駅」下車 徒歩約20分 ● 0748-86-2179 (甲賀流忍術屋敷)

戦国を訪ねる旅マップ

滋賀 京都 福井の歴史を感じる旅



【問い合わせ先】
滋賀県商工観光労働部観光振興局
滋賀県大津市津町4丁目1番1号
TEL:077-528-3741
[HP] <https://www.pref.shiga.lg.jp/>

(公社)びわこビジターズビューロー
滋賀県大津市打出浜2-1「コラボしが」2116階
TEL:077-511-1530
[HP] <https://www.biwako-visitors.jp/>

福井 FUKUI

明智光秀 雌伏の地 飛躍の地

戦国の福井を巡る 明智光秀

福井県ホームページ
「新型コロナウイルス感染症について」
新型コロナウイルスに関する最新情報はこちら

京都 KYOTO

福井・滋賀・京都三府県連携観光促進協議会 作成

明智光秀、細川ガラシャ 細川藤孝(幽斎)、忠興 ゆかりの地

京都府新型コロナウイルス緊急連絡サービス 「こころ」

- 一乗谷朝倉氏遺跡**
(福井市城戸内町)
戦国時代に朝倉氏5代が103年間にわたって治めた城下町。美濃から逃れた光秀は信長に仕える前に朝倉義景に仕えたとされています。後の將軍、足利義昭が9か月滞り、ここで光秀と顔をは合わせたのかもれません。
● JR福井駅から京福バス「一乗谷朝倉」特急バスで約15分(復原跡)下車すぐ ● 0776-41-2330 (朝倉氏遺跡保存協会)
- 明智神社**
(福井市東大津町)
光秀が朝倉氏に身を寄せた時の屋敷跡。娘の玉(玉子・後の細川ガラシャ)の生誕地と伝わっています。一向一揆討伐の際、光秀が柴田勝家に出させた安堵状により村が守られたことから、現在に至るまで東大津の人々は光秀を慕い、この神社を守り続けています。
● 北陸自動車道福井ICから車で約15分 ● 0776-20-5346 (福井市おもてなし観光推進課)
- 丸岡城**
(坂井市丸岡町長崎1-59)
現存12天守のひとつ。柴田勝家の甥・勝豊が築城しました。丸ヶ城の別名を持ち、上層望楼を備える2層3階建てで、野面積みの石垣など、初期の城郭建築様式を見せます。近には光秀が門前に住んだと伝わる称念寺もあります。
● JR福井駅から京福バス丸岡城行きで約50分(丸岡城)下車すぐ ● 0776-66-0303 (丸ヶ城公園管理事務所)
- 称念寺**
(坂井市丸岡町長崎1-17)
斎藤義龍の軍に明智城を滅ぼされた際、光秀は母・お牧の方の縁を頼り、妻・照子(ひろこ)とともに称念寺の門前に身を寄せたとされています。松尾芭蕉が伊勢を訪れた際に、黒髪伝説の逸話を讀んだ句碑が境内にあります。
● 北陸自動車道丸岡ICから車で約5分 ● 0776-66-3675 (称念寺)
- 越前大野城**
(越前市城崎3-109)
天空の城として人気を集める平山城。信長の家臣・金森長近が築城しました。現在の天守は、戦後再建されたものですが、天守台の野面積みの石垣は築城当時のものです。蕃盤の目状の城下町で行われる七間朝市は、400年以上の歴史を持っています。
● JR越前大野駅から天守まで徒歩約40分 ● 0779-66-1111 (大野市観光振興室)
- 越前和紙の里**
(越前市五箇地区)
1500年の歴史を持つ越前和紙の里。信長、秀吉、家康の歴代の権力者からの紙の流通を安堵する印鑑が残ります。『明智軍記』には、光秀が信長に仕える際に越前和紙を献上したという記載があります。紙の神様川上御前を祀る岡大神社・大蔵神社の「日本一複雑な屋根」は必見。
● JR生野駅から福鉄バス南越前線約30分(和紙の里)バス下車 ● 0778-23-8900 (越前市観光協会)
- 金ヶ崎城址**
(敦賀市金ヶ崎町1-4)
越前攻めで敦賀に侵攻した信長は、一乗谷へ進軍しようとした矢先、妹・お市から浅井長政の謀反の知らせを受け急遽退却したと伝わります(「金ヶ崎の退き口」)。秀吉とともに、光秀も市の方一族とともに社絶な最後を遂げ、同時に北の庄城もわずか8年という短い命を閉じました。
● JR敦賀駅から敦賀観光バスで約15分(金ヶ崎)下車 ● 0770-22-0938 (金ヶ崎神社)
- 北の庄城址**
(福井市中央1-21-17)
柴田勝家が信長から49万石を与えられ、数年の歳月をかけて築かれたといわれています。天正11年(1583)、秀吉の軍に攻められた勝家は、自ら火を放ち、妻のお市の方一族とともに社絶な最後を遂げ、同時に北の庄城もわずか8年という短い命を閉じました。
● JR福井駅から徒歩約5分 ● 0776-20-5346 (福井市おもてなし観光推進課)

- 福知山城**
(福知山市宇内記5)
光秀が丹波を平定した際に築城され、明治初期の廃城令で取り壊されたが昭和61年に市民の瓦一枚運動により天守閣が復元された。内部は光秀関連の資料が展示されているほか、最上階から城下が一望できる。開館時間9:00~17:00(入館16:30まで)
● JR山陰本線「福知山駅」下車 徒歩約15分 ● 0773-23-9564 (福知山城天守閣)
- 宮津城太鼓門**
(宮津市宇外側2508)
藤孝が天正8年(1580)に築城。本能寺の変ののちは忠興の居城となる。慶長5年(1600)の忠興出陣中に石田三成軍が押し寄せた際は、藤孝自らの手で宮津城に火を付け、田辺城に籠城した。宮津城の太鼓門は宮津市立宮津小学校に移築され、正門として使われている。
● 京都丹後線「宮津駅」下車 徒歩約5分 ● 0772-45-1625 (宮津市商工観光課)
- 丹波亀山城跡**
(亀岡市荒塚町内丸1)
天正5年(1577)頃、丹波攻略の拠点とするため明智光秀が築城。本能寺の変の際には、この地から出陣したとされる。天守石垣の下部3分の1は築城当時の穴太積みが残る。城跡は宗徳法人大本が管理しており、丹波亀山城跡の見学には、「ギャラリーおほもと」入館券(有料)の購入が必要。見学可能時間9:30~16:30
● JR山陰本線「亀岡駅」下車 徒歩約10分 ● 0771-22-5561 (大本本部)
- 山家城址公園**
(越前市広瀬町上1-76)
山家の豪族・和久氏の居城であった山家城(甲ヶ峯城)は、丹波平定の際、光秀の処罰を受け落城し、その麓に、江戸時代の地区を治めた谷氏が山家城(後の山家陣屋)を築城した。現在は公園に整備され、桜や紅葉など四季折々の自然が楽しめる。資料館の見学は要予約。
● JR山陰本線「山家駅」下車 徒歩約20分 ● 0773-46-0345 (山家公園)
- 山崎城跡(天王山山頂)**
(乙訓郡大山崎町大山崎)
羽衣(豊田)秀吉と明智光秀による山崎合戦で知られる天王山。約1時間程度で登ることができ、気軽に楽しめるハイキングコースとなっている。山頂には、井戸跡、土塁などの遺構が残っている。
● JR京都線「山崎駅」下車 徒歩約60分 ● 075-956-2101 (大山崎町政策課)
- 細川ガラシャ隠棲地の碑**
(京丹後市弥栄町須川)
本能寺の変ののち、明智光秀の娘・玉(後の細川ガラシャ)は、夫の細川忠興により味土野(京丹後市弥栄町)という深い地に幽閉された。紅葉、雪景色、満月の星、四季折々に姿を変え味土野の自然は魅了力が子と引き離された玉の心を慰めた。
● 京都丹後線「長岡京駅」下車 徒歩約40分 ● 0772-69-0450 (京丹後市観光振興課)

【問い合わせ先】
福井県観光誘客課
福井県福井市宝永2丁目4-10
TEL:0776-20-0291
[HP] <https://www.pref.fukui.lg.jp/>

(公社)福井県観光連盟
福井県福井市宝永2丁目4-10
TEL:0776-23-3677
[HP] <https://www.fuku-e.com/>

【問い合わせ先】
京都府観光室
京都市上京区下立売通新町西入敷/内町
TEL:075-414-4843
[HP] <https://www.pref.kyoto.jp/>

(公社)京都府観光連盟
[HP] <https://www.kyoto-kankou.or.jp/>

訪ねるほどにまた行きたくなるのが、歴史探訪の旅。

福井県、滋賀県、京都府には、戦国時代を体感できる場所がたくさんあります。あなたも、歴史を体感する旅に出かけませんか？

新型コロナウイルス接触確認アプリのインストールをお願いします

新型コロナウイルス 接触確認アプリ (略称: COCOA)
COVID-19 Contact Confirming Application



『明智光秀と照子』

妻、照子への一途な思い。

明智光秀は、美濃国土岐郡妻木城の妻木一族から照子を嫁に迎える約束をしていますが、天然痘で顔に痣ができたため、照子の代わりに妹を嫁がせる申し出がありました。しかし光秀はこれを断って、照子を迎えました。夫婦になってからも照子に対する思いは変わらず、光秀は照子が亡くなるまで側室をとらなかったそうです。仕えていた斎藤道三が「長良川の戦い」で敗死し、美濃を追われたときには、身重の照子を光秀が背負って越前へ逃れたと伝わります。

黒髪を売って光秀を支えた。

光秀が越前に住んでいた際に連歌会を催すことになりましたが、十分なお金を用意できず、照子は自分の長い黒髪を売って費用を工面します。この話は、松尾芭蕉が詠んだ「月さびよ 明智が妻の 咄せむ」のもとになっているとか。信長の家臣の頃、光秀が病で床に伏し、照子は不眠不休で看病しましたが、その疲れから照子は倒れ、帰らぬ人になりました。

領民に慕われた光秀。

「長篠の戦い」で武田勝頼を破った信長から丹波攻めを命じられた光秀は、この頃から病気がち。妻の照子が亡くなり、苦しいときでしたが、味方の応援や武運もあって丹波を平定しました。光秀は、横山城を改築して福知山城に改名。由良川と土師川の合流地点で水害が多い城下町に堤防を造るなど治水工事を行い、地子銭(宅地税)の免除、楽市楽座の開設など、経済発展に力を入れ、領民に慕われました。

家来に等しく厚い光秀の思い。

1571年、信長の比叡山焼き討ちで、坂本のまちは焼き尽くされますが、光秀は壇信と協力して西教寺を再建しました。また今堅田合戦で戦死した18名を慰霊するために、光秀は西教寺に米を寄進。武将や足軽の身分を問わず、全員に同じ量の米を供えました。家来に対する等しく厚い光秀の思いが、この寄進状から伝わってきます。現在の西教寺本堂前には光秀・照子をはじめ、明智一族の墓があります。



明智光秀



明智照子

1528年? 岐阜県または滋賀県生まれ
通称:十兵衛 あだ名:キンカン頭など
美濃の斎藤道三、越前の朝倉義景に仕えた後、將軍足利義昭の上洛に尽力する。交渉力や築城の才に加えて、歌や茶にも通じた教養の高さを買われ、織田信長の家臣となり重用された。1582年、謀反を起こして本能寺にて信長を自害させるが、10日後の山崎の戦いで羽柴秀吉に敗れる。

1530年頃 岐阜県生まれと伝わる
光秀の正室で、細川ガラシャの母。光秀とは仲睦まじい夫婦であったとされ、「黒髪伝説」等、光秀の立身出世を献身的に支えたと伝わる。没年について確かなことは不明だが、激戦の疲れで重病となった光秀を看病した後、その疲れから照子も病に倒れ、1576年に亡くなったと伝わる。



6 西教寺
滋賀県大津市坂本5-13-1
京阪電鉄石山坂本線「坂本比叡山口駅」下車 徒歩約20分
077-578-0013(西教寺)

びわ湖大津 光秀 大博覧会
「びわ湖大津・光秀大博覧会」では、大河ドラマの魅力を感じていただける「麒麟がくる」展を開催しています。2021年3月31日までの期間限定。

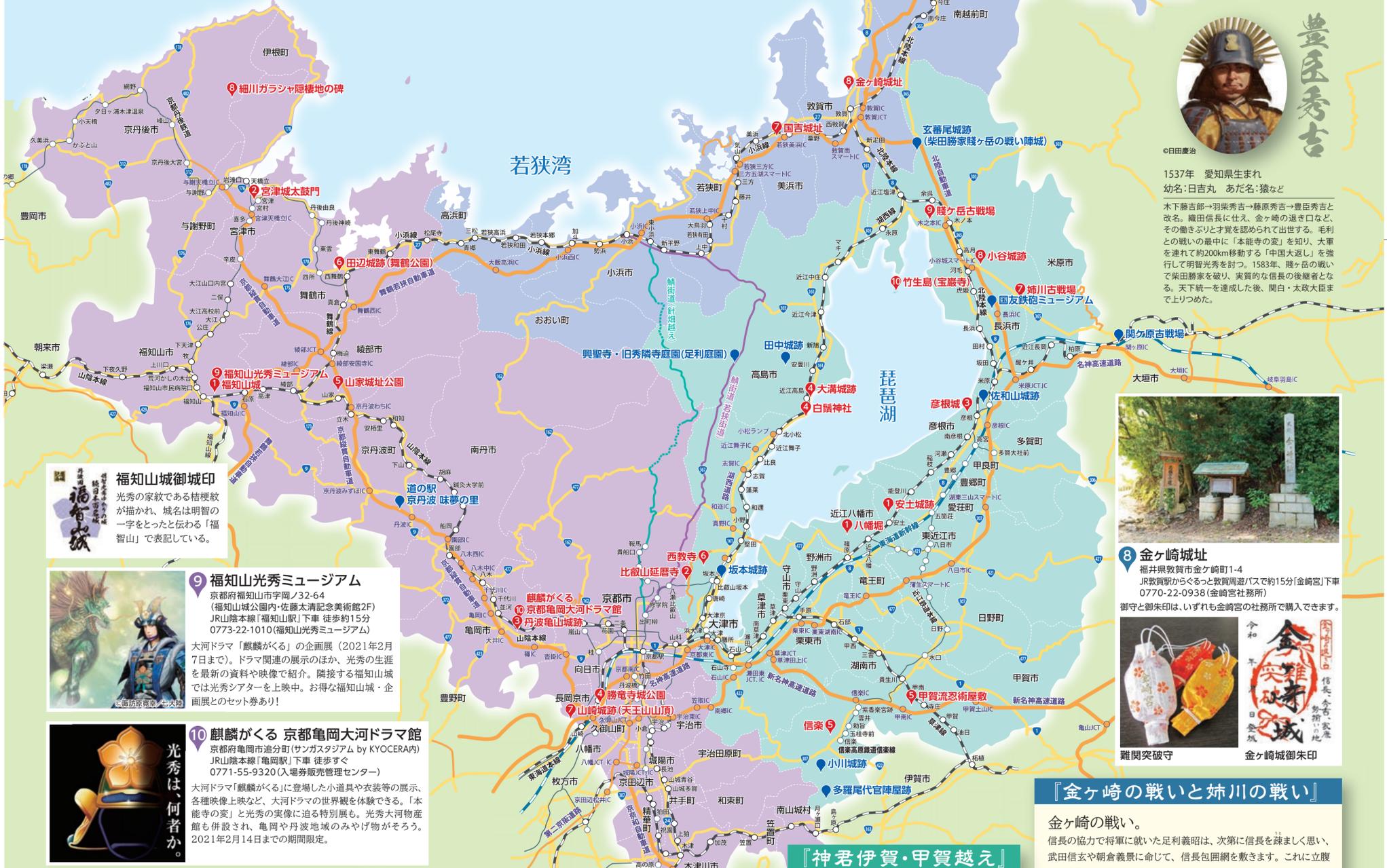


10 竹生島(宝厳寺)
長浜・彦根・今津の各港より、汽船約25分~40分
○長浜港・今津港 (琵琶湖汽船 0749-62-3390)
○彦根港 (オーミマリン 0749-22-0619)
0749-63-4410(宝厳寺)



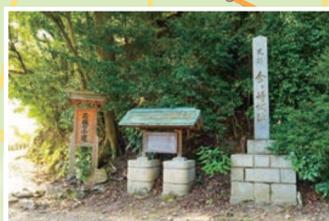
織田信長

1534年 愛知県生まれ
幼名:吉法師 あだ名:第六天魔王 など
家督をついだ頃は「つづけ者」などと呼ばれたが、1560年に桶狭間の戦いで今川義元の軍を破り、全国にその名を知らしめた。「天下布武」の理念を掲げ、姉川の戦いで浅井・朝倉軍に勝利し、將軍足利義昭を擁護して室町幕府を滅ぼし、1576年から約3年の歳月をかけて近江に安土城を築く。天下統一を目前にした1582年、配下の明智光秀の謀反により、京都・本能寺で自害する。



豊臣秀吉

1537年 愛知県生まれ
幼名:日吉丸 あだ名:猿など
木下藤吉郎→羽柴秀吉→藤原秀吉→豊臣秀吉と改名。織田信長に仕え、金ヶ崎の退き口など、その働きぶりと才覚を認められて出世する。毛利との戦いの最中に「本能寺の変」を知り、大軍を連れて約200km移動する「中国大返し」を強行して明智光秀を討つ。1583年、賤ヶ岳の戦いで柴田勝家を破り、実質的な信長の後継者となる。天下統一を達成した後、関白・太政大臣まで上りつめた。



8 金ヶ崎城址
福井県敦賀市金ヶ崎町1-4
JR敦賀駅からくるつと敦賀周遊バスで約15分[金ヶ崎]下車
0770-22-0938(金ヶ崎宮務所)
御守と御朱印は、いずれも金ヶ崎宮の社務所で購入できます。



『金ヶ崎の戦いと姉川の戦い』

金ヶ崎の戦い。
信長の協力で將軍に就いた足利義昭は、次第に信長を疎ましく思い、武田信玄や朝倉義景に命じて、信長を包囲網を敷きます。これに立腹した信長は、徳川家康と共に越前の金ヶ崎城を攻撃します。ところが、信長の義勇にあたり、同盟を結んでいた北近江の浅井長政が反旗をひるがえし信長の背後から襲撃します。お市の方は兄である信長に「両端を結んだ小豆袋」を送ることで、夫・長政の裏切り、挟み撃ちになることを伝えたいといわれ、信長は急ぎ敦賀から若狭街道を通って京へ逃げました。このとき、朝倉勢の追撃を防ぐために陣を務めたのが明智光秀と木下藤吉郎(豊臣秀吉)でした。このときの壮絶な戦いぶりは「金ヶ崎の退き口」と呼ばれ、戦国史上有名な撤退戦となりました。

形勢逆転、姉川の戦い。

岐阜に戻った信長は体制を立て直し、浅井長政の居城である小谷城前の虎御前山に陣を張りつめた。しかし城の守りが堅く、南下して横山城を攻め、徳川家康も合流。織田軍は姉川の手に陣を移し、織田と浅井、徳川と朝倉がぶつかる「姉川の戦い」が始まりました。戦いは朝倉優勢で進みましたが、榊原康政が側面から反撃して形勢逆転。朝倉軍、浅井軍も敗走し、約9時間におよぶ戦いは、織田・徳川軍が勝利しました。

『神君伊賀・甲賀越え』

本能寺の変(1582)の報を大坂の堺で受けた家康は、宇治田原、小川城を経由し、三河に帰還しました。井伊直政はこれに同行し、家康から孔雀の陣羽織を拝領したといわれています。
※甲賀を抜けるルートは複数の説があります。



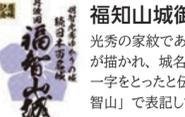
7 姉川古戦場
滋賀県長浜市野村町
JR北陸本線「長浜駅」下車 タクシーで約20分
0749-65-6521(長浜観光協会)



8 小谷城跡
滋賀県長浜市湖北町伊部
北陸自動車道小谷城スマートICから車で約5分
0749-65-6521(長浜観光協会)



9 賤ヶ岳古戦場
滋賀県長浜市木之本町大音
JR北陸本線「木ノ本駅」下車 バス約4分 大音バス停
0749-82-3009(賤ヶ岳リフト)



福知山城御城印
光秀の家紋である桔梗紋が描かれ、城名は明智の一字をとったと伝わる「福智山」で表記している。



9 福知山光秀ミュージアム
京都府福知山市宇野ノ32-64
(福知山公園内・佐藤太清記念美術館2F)
JR山陰本線「福知山駅」下車 徒歩約15分
0773-22-1010(福知山光秀ミュージアム)

大河ドラマ「麒麟がくる」の企画展(2021年2月7日まで)。ドラマ関連の展示のほか、光秀の生涯を最新の資料や映像で紹介。隣接する福知山城では光秀シスターを上映中。お得な福知山城・企画展とのセット券あり!



10 麒麟がくる 京都亀岡大河ドラマ館
京都府亀岡市追分町(サンガスタジアム by KYOCERA内)
JR山陰本線「亀岡駅」下車 徒歩すぐ
0771-55-9320(入場券販売管理センター)

大河ドラマ「麒麟がくる」に登場した小道具や衣装等の展示、各種映像上映など、大河ドラマの世界観を体験できる。「本能寺の変」と光秀の実像に迫る特別展も。光秀大河物産館も併設され、亀岡や丹波地域のみやげ物がそろそろ。2021年2月14日までの期間限定。

『信長と光秀』

光秀の謀反、本能寺の変。

武田攻めで活躍した徳川家康の力をねがうため、信長は安土城で宴を催し、光秀に饗応役を任せます。諸説ありますが、饗宴すぎた宴と、腐った魚を出したことに激怒した信長は、光秀に秀吉の援軍で中国地方への出兵を命じました。坂本城で度々を整え、愛宕大権現を参詣し、丹波亀山城から出陣した1万3千余りの明智軍が踏み込んだのは、信長がわずかな護衛と共に休んでいた本能寺でした。

信長への謀反を表した歌。

秀吉援軍の出陣前、明智光秀は愛宕勝軍地蔵を祀る愛宕大権現に、戦勝祈願を参詣しました。その夜に連歌会を開き、光秀が残した「ときは今 雨が下る五月哉」が有名です。「とき」は明智家の姓である「土岐」、「雨が下る」は「天下を治める」と解釈されています。謀反の前に、信長への恨みが漏れたのか、それとも天下への野心を歌に込めたのか、この歌の真相は誰にも分かりません。